



Y.Machida

THE HANSHIN SPRING JUMP

第26回 阪神スプリングジャンプ (J・GII)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 41,000,000円 16,000,000円 10,000,000円 6,200,000円 4,100,000円
付加賞 350,000円 100,000円 50,000円

4歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 4歳59^{kg}、5歳以上60^{kg}、牝馬2^{kg}減、J・G I競走1着馬2^{kg}増、J・G II競走1着馬1^{kg}増

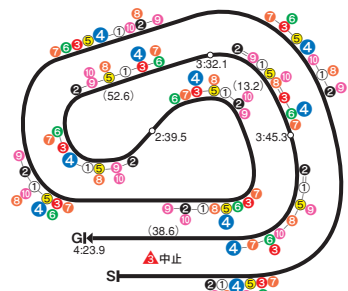
2024.3.9 阪神 曇・良 芝3900^m (混舍)

着順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (着差)	コーナー 通過順位	平均 1ハロン	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師
1	④	マイネルグロン	牡	6	62	石神深一	4:23.9	4-3-2-1	13.5	516(±0)	1.2①	青木孝文(美浦)
2	⑩	エコロデュエル	牡	5	60	草野太郎	7	8-8-5-5	13.6	476(+2)	16.7⑤	岩戸孝樹(美浦)
3	⑧	ロックユー	騾	6	60	西谷 誠	6	6-6-5-6	13.6	448(+10)	6.7②	中内田充正(栗東)
4	⑥	ニッソデイズ	牡	8	62	五十嵐雄祐	1 ^{1/4}	1-1-2-3	13.7	506(+2)	10.3③	高木 登(美浦)
5	⑤	トライフォーリアル	騾	7	60	中村将之	2 ^{1/2}	6-6-7-7	13.7	490(±0)	146.1⑩	萩原 清(美浦)
6	⑨	ワンダークローバー	牡	6	60	高田 潤	ハナ	8-8-9-7	13.7	470(-8)	86.8⑨	森田直行(栗東)
7	⑦	ネビーイーム	牡	6	60	小牧加矢太	1 ^{1/2}	2-2-1-2	13.7	534(+4)	51.2⑧	佐々木晶三(栗東)
8	①	ジェミニキング	騾	8	61	小野寺祐太	1 ^{1/4}	5-5-8-9	13.7	492(±0)	15.7④	庄野靖志(栗東)
9	②	エイシンクリック	牡	10	61	黒岩 悠	大差	10-10-10-10	13.8	480(+4)	46.7⑦	坂口智康(栗東)
中止	③	マッスルビーチ	牡	8	60	森 一馬		3-3-4-3		486(-14)	33.7⑥	鈴木孝志(栗東)

単勝④120円(1^{1/2}倍) 複勝④100円(1^{1/2}倍) ⑩170円(4^{1/2}倍) ⑧140円(2^{1/2}倍) 枠連④-⑧640円(3^{1/2}倍)

馬連④-⑩630円(3^{1/2}倍) ワイド④-⑩240円(3^{1/2}倍) ④-⑧190円(2^{1/2}倍) ⑧-⑩530円(7^{1/2}倍)

馬単④-⑩670円(3^{1/2}倍) 3連複④-⑧-⑩880円(3^{1/2}倍) 3連単④-⑧-⑩2,500円(7^{1/2}倍)



上り1マイル:1:44.4 上り: 800^m 600^m
4:23.9 51.8 - 38.6

アラカルト

- ・石神深一騎手はオジュウチョウサンで制した20年に続く阪神スプリングジャンプ4勝目で歴代トップの勝利数。JRA重賞は本年初勝利、通算26勝目
- ・青木孝文調教師は阪神スプリングジャンプ初勝利。JRA重賞は本年初勝利、通算3勝目
- ・ゴールドシップ産駒はJRA重賞通算8勝目
- ・6歳馬の勝利は17年オジュウチョウサンに続く通算6回目
- ・マッスルビーチは競走中に疾病(右上腕骨々折)を発症したため最後の直線コースで競走中止

マイネルグロン *Meiner Grand*

牡 青鹿毛 2018.6.7生

北海道新冠町 ビッグレッドファーム生産

馬主・株サラブレッドクラブ・ラフィアン 美浦・青木孝文厩舎
馬名意味・冠名+気高い、雄大な(仏)

マイネブリテンダーNZ系 F6-b

ゴールドシップ 芦毛 2009	ステイゴールド 黒鹿毛 1994	サンデーサイレンスUSA ゴールドンサッシュ
	ポイントフラッグ 芦毛 1998	メジロマックイン バストラリズム
マイネヌーヴェル 黒鹿毛 2000	ブライアンズタイムUSA 黒鹿毛 1985	Roberto Kelly's Day
	マイネブリテンダーNZ 黒鹿毛 1995	Zabeel Giladah

5代までのインブリード：Hail to Reason M4×S5

INTERVIEW

梶名聡ゼネラルマネージャー
(ビッグレッドファーム)

ここまでの活躍は期待以上のものです

とにかく無事にという思いでレースを見ていました。障害レースは何度見てもヒヤヒヤしますね。石神騎手がオジュウチョウサンを引き合いに出してこの馬を評価してくださっていますし、活躍馬が多い血統で近親には障害重賞勝ち馬もいますが、正直ここまでの活躍は期待以上のものです。次の中山グランドジャンプでも無事にゴールしてくれることを願うだけです。

S.Naka



3歳時の喜ばれに障害へ転身、入障3戦目に初勝利を挙げた本馬は5歳を迎えて本格化。昨年3月、ハナ差の接戦に競り勝ったオープン戦から暮れの中山大障害まで4連勝を飾り、障害界の頂点へ一気に駆け上がった。2月力余りの休養を挟んで臨んだこの日も王者の貫録をまざまざと見せつけ、非の打ち所がない内容で大勝。破竹の快進撃はまだまだ止まりそうにない。

父ゴールドシップ

北海道日高町 出口牧場生産 中央、仏28戦13戦(皐月賞^{G1}、菊花賞^{G1}、有馬記念^{G1}、天皇賞(春)^{G1}、宝塚記念^{G1} 2回、阪神大賞典^{G1} 3回、神戸新聞杯^{G1}、共同通信杯^{G1})、最優秀3歳牡馬、16年から供用
〔代表産駒〕ユーバーレーベン(後出)、ウインキートス(目黒記念^{G1})、ゴールデンハインド(フローラ^S^{G1})、ウインマイティ(マーメイド^S^{G1}、忘れな草賞・L、オークス^{G1} 3着)、ブラックホール(札幌2歳^S^{G1})、メイショウタバル(毎日杯^{G1})、マイネルグロン(本馬)、マイネラウレア(若駒^S^{G1})、プリュムドール(ステイヤーズ^S^{G1} 2着)、サトノゴールド(札幌2歳^S^{G1} 2着)、ウインビクス(クイーン^S^{G1} 2着)、マカオンドール(京都新聞杯^{G1} 3着)

母マイネヌーヴェル

北海道静内町 ビッグレッドファーム生産 中央22戦3勝(フラワー^C^{G1}、ホープフル^S^{G1}、中山金杯^{G1} 2着、福島牝馬^S^{G1} 2着)、20年死亡

マイネテレジア(07 牝父ロージズインメイUSA)中央3戦1勝、ユーバーレーベン(オークス^{G1})、マイネルファンロン ⑧(新潟記念^{G1})、マイネクラフト(燧ヶ岳特別)、マイネルエンペラー ⑧(尾張特別)の母

マイネエカテリーナ(09 牝父アグネスタキオン)中央2戦1勝

マイネルヴェルス(11 牝父コンデユイトIRE)中央10戦2勝(浄土平特別)

マイネルベルセルク(12 牝父ハーツクライ)不出走

クードヴァン(13 牝父ディーブインパクト)中央8戦0勝

マイネクラース(14 牝父ステイゴールド)中央29戦5勝(灘^S、春光^S、香取特別)、地方11戦0勝

マイネカイノン(15 牝父ハーツクライ)中央37戦3勝、地方16戦0勝

マイネミユトス(16 牝父ディーブインパクト)中央41戦3勝(鹿野山特別)、地方6戦1勝

マイネインパクト(17 牝父ディーブインパクト)中央7戦1勝

マイネルグロン 本馬(18 牝父ゴールドシップ)中央11戦0勝、障害11戦6勝(中山大障害^J^{G1}、阪神スプリングジャンプ^J^{G1}、東京ハイジャンプ^J^{G1})、最優秀障害馬 獲得総賞金209,421,000円

ヴァイルマティ(20 牝父ゴールドシップ)中央11戦2勝(松浜特別) ⑧

※08(生後直死)、10(流産)、19(不受胎)

祖母マイネブリテンダーNZ

中央1勝。97年輸入、05年死亡、**マイネルチャールズ**(弥生賞^J^{G1}、京成杯^J^{G1}、皐月賞^J^{G1} 13着)、**マイネラウレア**(シリウス^S^{G1})、**マイネネオス**(中山グランドジャンプ^J^{G1}、中山大障害^J^{G1} 3着)の母

王者の貫録を見せつけ今季初戦を大勝

障害重賞の開幕戦で、中山グランドジャンプの前哨戦とも位置付けられている阪神スプリングジャンプには、暮れの中山大障害の1・3着馬が揃って参戦。なかでも昨年度の最優秀障害馬マイネルグロンが単勝1・2倍と圧倒的な支持を集めた。2着馬に2秒4差をつけた未勝利戦を皮切りに、オープン戦、イルミネーションジャンプSと3連勝中の新星、ロッキューとの初対決も注目されたレースだが、脚光はマイネルグロンが独占。王者として迎えたシーズンの初戦をワンサイドの勝利で飾り、春の大目標に向けて順調なスタートを切った。

地点からゲートが開くと、まずはネイビーームが飛び出し、逆回り周回の前半戦を先導。暮れの2着馬で2年前の中山大障害の覇者ニシノデ이지が2番手につけ、マイネルグロンの石神深一騎手は直後の4番手を進む。レコードで逃げ切ったイルミネーションジャンプSとは一転、末脚勝負に構えたロッキューも1周目スタンド前の連続障害でニシノデ이지の直後に位置を上げ、仕掛けのタイミングを窺った。タスキコースの手前で先手を奪ったニシノデ이지と、再びこれに並びかけていったネイビーーム。中盤以降、雁行してレースを引っ張った2頭を離れた好位で見守った石神騎手は楽な手応えを保ったまま前に接近し、最終3、4コーナーのいけ垣障害の飛越で先頭へ。余力を十分に残していたマイネルグロンは見る見るうちにリードを広げて独走。2着に追い込んだ暮れの3着馬エココロデュエルに7馬身差をつけてゴールに飛び込んだ。